

## 第1回「子育てあんしんの避難所」検討プロジェクトの実施状況について

日時 平成28年6月20日（月） 午後1時30分～午後3時30分

会場 ながおか市民防災センター2階研修室

### プロジェクトの設置について

本プロジェクトは、このたびの熊本地震における母子避難所開設時の周知の難しさなどを教訓に、長岡市における災害時の子育て世代を支援する拠点についての検討を官民協働で行うものです。

本市では、全地域に「子育ての駅」を配備し、市民と協働で運営していること、日ごろから子育て世代に親しまれ、様々な悩みに対応する人的ネットワークも有していることから、有事の際にそのノウハウや資源を有効に活用することが可能です。

そこで、子育て支援に携わる専門家やNPOなどととともに、具体的な防災機能の強化についての検討を重ね、新たな付加価値を「子育ての駅」に創出することで、地域に根差した「子育てあんしんの避難所」の開設につなげていくものです。

### プロジェクトメンバー

主任児童委員、母子保健推進員、助産師、多世代交流館になニーナ、長岡にこっとクラブ、中越防災安全推進機構、子育ての駅運営委員、長岡市社協、長岡市関係課（福祉総務課、健康課、男女共同参画推進室、危機管理防災本部、子ども家庭課）

### 第1回の検討内容

- 1 熊本で学んだことについて、チーム中越の佐竹直子氏からの報告
- 2 長岡版ネウボラについての説明
- 3 ワークショップ（妊婦・乳児がいる場合の避難所のニーズについて）

#### 【平時】

- ・子育て世代に対する防災意識の向上を図っていく必要がある
- ・支援者の顔の見えるつながりが大事

#### 【災害時】

- ・妊産婦や乳幼児特有の物資の確保
- ・避難所は、プライバシーや清潔面の確保、母子特有の相談のしやすさなどを配慮してほしい
- ・普段、行き慣れた場所が良い
- ・子どもが、体を動かして遊べる場があると良い

### 今後について

ワークショップを2回開催し、あんしんの避難所開設に向けた、それぞれの立場での役割や必要な機能などを検討